

科目名	子ども家庭支援論（保育士必修）		
授業形態	講義	学年	2
開講時期	2023年度 前期	単位数	2
担当教員	長谷川 まち子		
内容および計画	<p>急激な社会状況の変化に伴い、児童福祉を考えるには、子どもと家庭・地域などを視野に入れる必要があります。これらを学ぶ「子ども家庭支援論」では、次の4つを目標とする。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1, 家庭の意義とその機能について理解する。</li> <li>2, 子育て家庭を取り巻く社会的状況などについて理解する。</li> <li>3, 子育て家庭の支援体制について理解する。</li> <li>4, 子育て家庭のニーズに応じた多様な支援の展開と関係機関との連携について理解する。</li> </ol>		
1	<p>子ども家庭支援とは何か  ◎過程を支援する必要性とは何か  「家族」「家庭」「子育て支援」に関する新聞記事を集めよう  事例検討・グループワーク</p>		
2	<p>「子育て」と「子育て」はなぜむずかしくなったか  ◎社会・家族の返還  新聞記事の整理をして、事例検討・グループワーク</p>		
3	<p>少子社会と家族  ◎増加傾向であった人口の急激な減少と少子化  ◎親の意思が先行する「頑張る子育て」  事例検討・グループワーク</p>		
4	<p>少子化対策から子ども・子育て支援新制度へ  ◎保育施設における少子化対策と子育て支援サービス  ◎子ども・子育て支援新制度  事例検討・グループワーク</p>		
5	<p>子どもと家族の変容①夫婦と親子  ◎夫婦関係の今と昔  ◎父親の家事・育児「参加」と労働時間  事例検討・グループワーク</p>		
6	<p>子どもと家族の変容②きょうだいと祖父母  ◎きょうだいの存在が子どもに与える影響  ◎祖父母の存在と影響  事例検討・グループワーク</p>		
7	<p>「ヒト」の持つ育ちの可能性  ◎赤ちゃんが生まれながらに持っている力  ◎赤ちゃんは相手とかかわりたいと願っている  DVD・事例検討・グループワーク</p>		
8	<p>ファミリーウォッチング；町で家族を見てみよう  ◎ファミリーウォッチングとは何か  ◎フィールドにおける援助の可能性と限界を考える  事例検討・グループワーク</p>		
9	<p>親と子・家族の関係形成とその発達（虐待の予防的支援）  ◎親と子がつながっていると感じる時  ◎家族の危機と発達・関係機関との連携  事例検討・グループワーク</p>		
10	<p>私の子ども時代：子どもの生活と遊び再考  ◎子ども時代の遊び体験  ◎家族以外の人とのつながり 子どもの対人経験  事例検討・グループワーク</p>		

11	子どもの成長と地域の子ども・子育て資源 ◎妊娠・出産時期への援助 ◎新生児・乳児期・幼児期への援助 事例検討・グループワーク
12	多様な子ども・家庭支援と地域の連携①子育てのストレスと子どもの発達援助・発達障害 ◎保育施設の限界と地域資源との連携（要支援家庭） 親の抑うつ傾向と「見守り」・「介入」 ◎心配な親に出会ったとき 事例検討・グループワーク
13	多様な子ども・家庭支援と地域との連携②虐待（要保護児童・家庭支援） ◎虐待の実態と種類 ◎保育者ができること・できないこと 事例検討・グループワーク
14	諸外国の子ども・家庭支援 ◎外国につながる子どもと家族への支援 事例検討・グループワーク
15	子ども家庭支援の現状と課題 ◎親になるあなたへ ◎社会を支えるあなたへ ◎総合的な家庭支援と今後の課題 事例検討・グループワーク

#### 教科書

タイトル	著者名	出版社	ISBN	発行年
子ども家庭支援論	土谷 みち子	青鞥社		2020

#### 参考書

#### 成績評価

評価方法	割合(%)
授業態度	20
ミニレポート	40
期末レポート	40

学習到達目標	家庭の意義と役割について把握し、保育士などが担う子ども家庭支援の原理について学ぶ。 家庭の多様化・子育て支援における関係機関との連携、そして今後の課題などについて、自分なりに考える視点を持つ。
先修条件	
実務経験	
その他	自分が育った地域・家庭を見つめ直し、自分の経験を通しての意見交換や発表を取り入れ講義内容を深めたい。